

## 刊行のことば

「実践的研究のすすめ方―新しい教育の創造―」は、平成6年11月に刊行して以来、教育実践の充実と教育研究の推進の手引書として、県内はもちろんのこと、広く全国の読者の方々に活用され、今日に至りました。

新世紀を迎えた今、我が国の教育は大きな変革を迫られています。これからの各学校においては、学習指導要領の改訂にともなって、児童生徒に「生きる力」をはぐくむ教育を目指し、創意工夫を生かした特色ある学校づくりや教育実践が求められています。

そこで私たちは、教育研究の手引書としての基本をしっかりと踏まえるとともに、これからの学校教育の諸課題に適切にこたえられ、しかも教育実践の充実と教育研究の推進に少しでも役立つものとなるよう、今回、本書を改訂することといたしました。

今、学校や教師一人一人に課せられた責任は以前にも増して重く、それを果たすためには、学校や教師が、不断の努力と精進によって自己を磨き、職能成長を図っていくことが最も大切なことです。21世紀に生き、その社会を支え、国際社会に貢献できる子供を育成するために、学校を基盤とした自主的、創造的な研究を推進することの必要性は、何人も異存のないところであります。

学校における教育研究は、一人一人の子供の実態を踏まえた日々の教育実践上の課題から出発しているために、研究すべき課題は極めて多種多様であります。それゆえに、課題を明確にし、実践的に研究を進めることが望ましいと考えます。

実践的研究で取り扱う課題は、その一つ一つが様々な要因によって複雑化しており、研究意欲はあっても、効率のよい研究推進に結び付きにくいところもあることは確かであります。

そこで、読みやすく、分かりやすく、使いやすいものとなるよう、今回の

改訂に当たっては4章構成とし、実践例を豊富に取り上げることにいたしました。各章の特色は次の通りです。

### 第1章 学校における実践的研究

学校における実践的研究について、仮説を立て検証する場合と、事実に関するデータを収集し、分析・解釈する場合の二つの基本的な考え方を示しました。

### 第2章 実践的研究の具体的な進め方

授業研究を学校における実践的な研究の中核としてとらえるとともに、教材開発研究、事例研究、調査研究についてもその価値を確認し、ページ数を増やして各研究方法の進め方について、実践例を豊富に盛り込みながら解説しました。

### 第3章 実践的研究を支える技法等

研究を構想するための技法を具体的に解説するとともに、コンピュータを活用したデータ収集・処理等も取り上げました。

### 第4章 実践的研究の具体的展開

実践例は、今日的な教育課題に基づくものを紹介しました。特に、実践内容や研究方法としてのよさが分かるよう端的な前文を添えました。

また、「総合的な学習の時間」については、今後、学校における実践的研究を進める際の手がかりとなる視点や方法等について示しました。

最後になりましたが、本書の刊行に当たって終始ご指導いただきました先輩各位及び関係機関の皆様と、ご協力をいただきました関係学校の先生方に対し深甚なる感謝をささげますとともに、出版に当たって温かいご配慮を賜りました東洋館出版社の各位に対し厚くお礼を申し上げます。

平成13年2月

群馬県教育研究所連盟委員長 池田 眞澄